

～一人ひとりを大切に～

戸田ゆき子の ニューズレター



2011.10.21. No.12

発行 戸田ゆき子とともに市政を考える会
〒284-0001 四街道市大日160-27
E-mail yukiko7toda@yahoo.co.jp

TEL & FAX 043-421-3541
郵便振替 00140-0-484033

9月議会報告

一人ひとりの生命と暮らしを大切にし、

災害に強いまちづくりを

大きな被害をもたらした東日本大震災より半年が過ぎました。幸いなことに本市は、大きな被害を受けませんでした。市はこの度の震災を教訓にして地域防災計画の見直しをする予定です。

市長は、9月補正予算で防災井戸の設置費や移動系防災無線設置費などを計上しました。私の今回の防災対策に対しては前向きな答弁をされ、より一層災害に強いまちづくりへ取り組む意気込みを感じました。

一般質問より

①防災対策の充実に求めて

四街道市防災会議の委員に複数の女性の参画を検討!

被災地の避難所からは、災害という非常時だからこそ避難所の運営や備蓄食糧の内容などに生活者の視点、女性の視点が必要との声が出ています。

本市地域防災計画を検討する市防災会議委員は26名。委員は、災害対策基本法の規定により選任されるのでどうしても男性が多くなりがちで、残念ながら女性1名しかおりません。しかも災害対策本部には0人です。せめて女性委員3割の参画を目指すべきで、本市の防災会議条例第3条5の(8)に「その他市長が必要と認める者」として5人の枠がありますので、その枠を活用すれば可能はず。佐渡市長から「十分、検討していきたい」との答弁がありました。



現在の委員の任期は平成25年3月31日までですので改選までの間、現メンバーの他に何らかの形で女性の意見を反映させる方法を取り入れられるようこれから提案していきます。

避難所にマンホールトイレの設置を検討!

阪神・淡路大震災では避難所でのトイレ不足から、水分を取ることが我慢したり控えたりして、エコノミークラス症候群にかかり亡くなる方が相次いだそう。この度の震災でも同じような状況が起きています。

阪神・淡路を教訓にマンホールトイレの開発が進み、設置する自治体も増え全国に広がっています。本市も避難所となる市内小中学校のトイレだけでは不足することが目に見えているので考えをお聞きしましたところ「マンホールトイレを検討していく」との答弁がありました。今後の取り組みに注目していきます。

もっと急いでほしい災害時要援護者支援個別計画の策定

災害時に、一人では避難することが困難な人を、あらかじめ決められた支援者が一緒に避難所に避難するまでのその人の必要とする支援計画を作るのに時間がかかります。いつ、災害が起きるかわかりませんので当事者の方から早急に取り組んでほしいとの声があります。すでに策定済みの自治体もありますので、もっと急いでください市長さん!



現在の四街道市地域防災計画書

市議選の日程が
決まりました

告示日
2月19日(日)

投票日
2月26日(日)

福祉避難所として公共施設の指定を要望

特養などの福祉施設は普段からベツド数に余裕がないうえ、被災しなかつた施設が定員をオーバーして受け入れざるをえず、職員の疲労が限界に達していること。また、知的障害の子どもが大声をだすので避難所にいられず車の中で生活したり、危険を承知で自宅に帰ったりと、福祉避難所の少なさが問題になっています。

本市ではまだ福祉避難所の指定をしていません。市内の作業所にいる方からも福祉避難所の設置を望む声があり、福祉施設に限定することなく、公共施設や学校の余裕教室などの活用を検討してほしいと要望しました。

(注) 福祉避難所とは・災害時に高齢者や障害者など特別な支援・配慮を必要とする人が避難する場所。市町村が特養や入所施設などを指定。現状では指定している市町村は少ない。

市民がいつでも見られるように地域防災計画書を図書館に置くことになりました。

②第5期高齢者保健福祉計画 ・介護保健事業計画の理念は「地域包括ケアシステム」の充実

昨年12月議会で、本市の第5期計画の理念を問いましたところ、高齢者が地域で自立した生活を営めるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが切れ目なく提供される「『地

域包括ケアシステム』の一層の推進」との答弁でした。それを受けて質問いたしました。

計画策定にむけ現計画の評価が欠かれません。評価は、誰が、どんな基準でしたのかポイントになります。第4期計画の評価は内部評価のみで、利用者、事業者など外部の人間による評価はされませんでした。

現場の意見や介護の実態を反映させ、よりよい計画を

また、市は計画策定を市保健福祉審議会に諮問していますが、利用者や事業者、ケアマネジャー協議会などは委員として参加しておりません。話し合いは持たれたようですが、評価・策定共に、利用者・事業者・ケアマネ協議会などが継続的に関わることで現場の声や介護の実態を反映させたよりよい計画となります。

介護の現場には解決しなければならぬ課題がたくさんあります。これからでも遅くないので、保健福祉審議会の高齢者部会に臨時委員枠を設けて利用者や事業者、ケアマネ協議会から委員を募り、現在の委員と一体となって、現場の意見・介護者の声を反映させ

たよりよい計画策定をめざしてほしい。



質問でわかったこと

- ・要となる「地域包括支援センター」は、現在市内に1ヶ所だが、今後市内に複数のサブセンターを設置
- ・本市の地域包括支援センターの課題は、相談を待つだけでなく積極的にニーズの発見と地域のネットワークの構築
- ・市内に未整備の訪問看護ステーションの整備は、今後の課題

この他の一般質問

- ①放射線被曝を少なくするため
・土壌調査測定値の分析と今後の取り組み・対応
- ・健康被害について市民への情報提供・学校教育(社会・理科)における子どもたちへの取り組み
- ②障害者基本計画・障害福祉計画策定において障害者本人・家族・事業者の参画

補正予算(約6億6千6百万円)に賛成しました

●歳入の主なもの	
地方交付税	約332,405千円
市債	254,700千円
国・県補助金ほか	142,097千円
●歳出の主なもの	
防災井戸設置	14,800千円 (県立千葉盲学校・県立四街道北高校・愛国学園・敬愛高校)
移動系防災無線増設	22,000千円
保育所及び学校給食食材の放射能測定	2,850千円 (11月～3月まで78検体分 委託先 ハウス食品)
栗山小学校屋内運動場耐震改修設計委託	5,250千円
住宅用太陽光発電システム設置費補助金	2,000千円
木造住宅耐震診断費補助金	800千円 (80千円×10件分)
// 耐震改修費補助金	2,500千円 (500千円×5件分)
道路舗装修繕及び道路維持費など	64,520千円
排水工事等	18,040千円

12月議会の予定

- 11月28日(月) 開会
29日～12月2日 議案審議
- 12月5日 環境経済・建設常任委員会
- 6日 教育民生・総務常任委員会
- 7日～15日 一般質問
- 21日 閉会
- 傍聴においでください



戸田ゆき子と おしゃべりサロン (議会報告会)

11月11日(金) 13:30～
場所 文化センター206号 無料

議会のこと・市のこと・どんなことでもどなたでもお待ちしております。

